



〈雑録〉内池廉吉君著「商業學概論」ヲ評ス

上田, 貞次郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 2(6):801-806

(Issue Date)

1907-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051154>



内池廉吉君著「商業學 概論」ヲ評ス

商學士 上田貞次郎

凡ソ自己ヲ局外ニ置テ他人ノ長短ヲ論スルハ
趣味アル業ナリ。著書ノ批評ハ嘗ニ評者ニ取リ

テ趣味アルノミナラス一般ニ研究ノ興味ヲ喚起シ、學問ノ進歩ヲ助クルヲ常トス。故ニ余ハ批評ヲ好ムモノナリ。然レモ批評ヲナス以上ハ褒貶共ニ之ヲ述べザルベカラズ。從テ評者ハ「憎マレ役」タルヲ免レズ。「憎マレ役」タルハ好マシカラザルヲ以テ批評ハ流行セザルナリ。幸ニシテ内池君ハ自由寛容ノ德アル人ニシテ自ラ本書ノ批評ヲ求メラレタルニ依リ余ハ「憎マレ役」タラズシテ「憎マレ口」ヲナスノ好機會ヲ得タリ。余ノ批評ガ果シテ適中セルヤ否ヤ。ソハ更ニ讀者ニ對シテ批評ヲ請フモ亦善カラズヤ。

内池君ノ新著ヲ通讀スルモノハ何人モソノ文章ノ平易簡明ニシテ記事ノ精撰ヲ經タルヲ感ズベシ。内池君ガ前ニ公ニセラレタルホルヒト氏商業論解説ハ文章ノ點ニ於テ中等ノ成績ナリシガ今回ノ概論ハ滿點優等ナリ。材料ノ秩序排置ハ序文ノ内ニモ述べラレタル如ク充分力ヲ盡サレタルモノト見エ、生硬杜撰ノ跡ナシ。著者ガ

神戸高等商業學校ニ於テ數回同一ノ講義ヲ繰返サル、ニ際シ、反省推敲ヲ重テラレタル結果トシテ余ノ深ク感服スル所ナリ。然レモ書物ノ内容ニ至リテハ文章體裁程ニ感服スルコト能ハズ。ソノ感服スルコト能ハザル理由ハ第一、體裁ノ完備ヲ求ムルニ急ニシテ實質ノ重要ナルト否トヲ區別セサルコト、第二、商業學ヲ一科ノ科學トナサンコトヲ勉ムレモ本論ノ内容ハソノ趣意ニ適ハサルコトノ二點ニアリ

形式ヲ過重シテ實質ヲ疎ンズルハ現今日本ノ學界教育界ノ通弊ニシテ本書モ亦ソノ一例タルヲ免レズ。本書ニハ事物ノ意義分類ヲ述ブルコト甚ダ詳ナレモソノ内ニハ全ク無用ナルモノ少カラズ、凡ソ事物ノ意義ヲ言語ニ表ハシ、又種々ノ方法ニ依リテ分類スルハソノ物ノ道理ヲ一層明カニ了解セシメ又ハソノ説明ノ中ニ用ヒタル論理ニ基テ他ノ問題ヲ解釋スル場合ニ有要ナル次第ニシテ定義ヤ分類ソノ者カ重要ナルニハア

ラス、然ルニ本書ノ内容ヲ見レハ或用語ヲ出ス毎ニ必スソノ意義ヲ述ヘ、分類ヲ用ヒスンハアラス。又分類ヲナスニハアラユル方面ヨリ觀察シテ分類ノ出來得ル限リハ分類セント試ミタルモノ、如シ。故ニ體裁甚タ美麗ナレト議論ニ生氣ナク實用ニ遠カルノ傾アリ。其極端ナル例ヲ舉クレハ商業使用人ノ章ニハ簿記方、出納方、通信方、商業巡廻人、貨物方ヨリ丁稚小僧ニ至ルマテ十項ノ名稱ヲ舉ケ一々ドイツ語ノ原語ヲ付シ且説明ヲ加ヘラレタリ、而シテ此記事ハフインダイセン氏ノ商業學原論ニ據リタルモノトイヘリ。然レトモ此程ノ「ハドイツ」書ヲ待タストモ吾々日本人カ日々ノ經驗ニ徴シテ熟知セル「ナリ」。又商品ノ章ニ於テ著者ハ「商品ノ意義」ヲ述ヘ、商業ノ目的タル「經濟貨物ナル」ノ二要件ヲ説明セラルレト是亦「高等商業叢書」ヲ待タスシテ何人モヨク知ル所ナリ。商品ノ類別ニ至リテハ五個ノ標準ニ依リテ一々ソノ名稱ヲ

舉ゲダレト此等ノ區別カ如何ナル必要ニ依リテ生シタルヤヲ知ラス。廣告ノ意義種類ノ如キモ亦ソノ類ナリ、補助商業論ニ入りテ交通ノ章ニハ道路ノ定義、車ノ種類等モ見エタリ。鐵道ノ章ニハ切符ノ使用法アリ、停車場ノ説明アリ。愚見ニ依レハ商業教育ニ於テハ成ヘク人ノ常識ニ訴ヘ常識ニ依ル判斷力ヲ養成スヘキモノナレハ右ノ諸項ノ如キモ寧ろ省略サレテ然ルヘキカ如シ。凡テ體裁形式ヲ過重スルノ弊ハ右ノ如ク無用ノ橋壁ヲ築カシメ常識ノ活用ヲ抑制スルノミナラス、事物ノ緊要ナルモノト然ラサルモノトヲ區別セスシテ千篇一律ニ論シ去ラシムル傾アリ。是亦頗ル注意スヘコトナリト信ス、勿論概論ニ於テハ如何ニ重要ノ事項ト雖之ヲ詳説スルハ望ミカタキ「ナルヘケレハセメテ此々ノ事柄ハ何々ノ關係ニ於テ實際上又ハ理論上重要ナリトイフカ如キ注意ヲ與フル」ニシタキモノナリサスレハ鋭敏ナル讀者ハ必ス之ニ關シテ或ハ揣

摩シ、或ハ推論セント勉ムルカ故ニ自ラ智力ヲ働カシムルノミナラス、後來ノ研究ノ端緒トナルイモアルヘシ。形式教育ノ害ハ萬事ヲ致ヘテ一物ヲモ悟ラシメサルニアリ。

次ニ余ハ内池君カ本書ノ緒論中ニ説カレタル商業學系統論ニ反對スルモノナリ。内池君ハ商業學ヲ一科ノ科學トナサントシ現ニ序文ノ内ニモソノ自信ヲ明カニセラレタレモ余ハ商業學ノ存在ヲ否認スルモノナリ。(余ノ意見ハ同文館出版ノ字書中ニアリ)之ハ意見ノ差異ニシテ本書ノ缺點トスルニ足ラサルカ如クナレモ實際ニ於テ著者カ概論中ニ述ヘラレタルイハ緒論ノ趣意ト一致シ居ラサルイヲ知ルヘシ。緒論ニハ狹義ノ商業學ヲ商業經營ノ學問トナシ、經營ニ關スル一般ノ原則ヲ探求スルモノト稱セラレタルニ拘ラス、本論ニハ經營ニ關スル問題至テ少シ。第一卷ハ主トシテドイツノ學者カ唱フル「商業政策論」ヨリ引拔キタルモノナリ。政策ハ國家

ノ政策ニシテ專ラ國民經濟の見地ヨリ商業ヲ論スルモノニシテ經營者ノ側ヨリ見タルニハアラス。勿論國民經濟の立場ト個人經濟の立場トヲ明カニ區別スルハ不能且不必要ナレモ主客ヲ轉倒スルハ非ナラスヤ。第二卷ニ於テモ政策論風ノ材料ト實務誌流ノモノト相交互シ居ルノミニテ經營論ハ至テ少シ。著者カ經營ト稱セラルハ主トシテ賣買、貸借、運送契約、保險契約等ノ履行ニシテ此ハ寧ロ個々ノ取引ナリ。事業全部ノ經營ニハアラサルナリ。但シ著者ハ海運業ノ會計、保險業ノ會計等ノ章ヲ設ケ經營ノ一面ヲ説カレタリ。是確カニ一ノ重要ナル研究問題ニシテ今後日本ノ商業學者簿記學者カ最も力ヲ用フヘキ點ナリト信ス。余ハ此問題ヲ通論ノ一部ニ加ヘラレタル著者ノ着眼ヲ多トシ、此方面ニ於テ大ニ發展サレンイヲ希望スルモノナリ。要スルニ經營論ノ少キハ本書ノ缺點ニ相違ナケレモ元來今日ニ於テハ眞ニ商業學トイフヘキモ

ノ存在セス、將來ニ於テモ容易ニ成立セサルヲ信スル(余ノ如キ)モノアル程ノ場合ナレハ獨リ内池君ニ向テ多キヲ望ムハ不道理ナリ。余ハ唯同君ノ本論ノ内容カ緒論ノ内ニ述ヘラレタル所ト同シカラサルヲ指摘シタルノミ。且又本書ハ「商業學概論」ノ名アレハ實ハ「商業通論」ノ講義ナリ。高等商業學校ノ敎課ノ一トシテ商業通論ハ必スシモ一科學ノ體裁ヲ備フルヲ要セス。

寧ロ商業ノ理論(國民經濟的及經營的)實務竝ニ多少ノ技術ヲ講シ、後來ノ研究ノ端緒ヲ開クモノナレハ學問トシテノ體裁ニハ無頓着ニシテ可ナリ。此意味ヨリイフ時ハ内池君ノ書ハ書肆ノ廣告文ノ通り「從來本邦ニ於ケル商業學ノ研究カ概シテ陳腐ナル技術的方面ニノミ傾キ健全ナル經濟上ノ基礎ヲ缺ケル」ニ對シテ調和革新ノ實ヲ有スルモノナリ。

終ニ臨テ少シク揚ケ足ヲ取リタキハ十三頁ニ出テタル數行ノ文句ナリ。著者曰ク「故ニ深ク

此學(狹義ノ商業學)ニ通スルトキハ敢テ殊更ニ第一門(經濟學、社會學、商業史、商業地理、統計)及第二門(商業政策政治學、法律)ニ示スカ如キ補助的學科ヲ修ムルコトナクシテ優ニ斯業經營ノ任ニ堪ユルノ素養ヲ得ヘント雖モ云々」。是少クトモ我日本ノ商業學生ノ一部カ夢想シツ、アルナリ。而シテ學問萬能、專門崇拜ナル我敎育界ニ於テハ無理ナラヌ夢想ナリ。然レモ余ハ之ニ對シテ熱烈ニ反對スルモノナリ、蓋シ醫者技師ハ主トシテ醫學又ハ工學ニ依頼シ得ヘント雖モ政治家及商人ハ政治學又ハ商業學ニ依頼スヘキモノニアラス、學問ニ依テ政治上商業上ニ成效セントスルハ實際ヲ知ラサル空論ニシテ抑常識ニ外レタル考ナリ。商人ハ打算、計劃、臨機及統轄ノ才ニ依ルヘキモノニシテ經濟學商業學ソノ他スヘテノ學問ハ唯ソノ才ヲ養ヒ且助クルノ手段ナルノミ。學問ヲ重スルハヨキナリ。然レモ學問ハ死物ナリ、事業ハ活物ナリ。死物

ヲ以テ活物ヲ律スヘケンヤ。日本ノ商業學カ實務誌ヲ脱シテ經濟政策ニ入リタルハ可ナリト雖是僅カニ進歩ノ一段ナルノミ。學問ヲ死物視スルノ氣魄ナクンハ商業教育ハ到底手代ト教師トノ養成者タルニ止ルヘシ

以上余ハ内池君ノ著書ニ對シテ嚴重ナル批評ヲ試ミ、終ニハ揚ケ足マテモ及ヒタレモ再考スレハ是皆余カ現今日本ノ學界教育界ニ對スル不平ニ過キス。之ヲ以テ内池君ノミヲ攻メントスルハ當ヲ得タルモノニアラサルカ如シ。「商業學概論」ハ上述ノ缺點アルニ拘ラス、商業通論トシテハ從來出版サレタル諸書ノ第一等ニ置クヘキモノニシテ、モシ商業ノ初學者カ參考書ヲ欲スル場合ニハ余ハ躊躇ナク此書ヲ推薦スルヤ明カナリ。「憎マレロ」ヲキク氣ニナリタルモ畢竟此書カ餘リ奇麗ニ出來居レハナリ。筆ヲ擱クニ當リテ此「憎マレロ」ヲ容レラレタル著者ノ好意ヲ多謝ス